

単元名 ふしぎな たまご(絵)

配当時間 5時間

単元の目標 (1) 表したい形や色に合わせてかき方や身近な材料の使い方を工夫して絵に表すことができる。
 (2) 不思議な卵から生まれてくるものを考えるとともに、自分や友達のかいた絵を見て、想像したことを話し合い、お互いの作品の楽しさや面白さを味わうことができる。
 (3) 不思議な卵から生まれる世界を絵に表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080101_001

【準備等】画用紙、色画用紙、共同絵の具、ワークシート、作品カード、クレヨン、パス、サインペン、はさみ、のり など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 図工の最初のオリエンテーションとして行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「たのしいかたちやいろのせかい」を見て、好きな形や色、触った感じや作品などについて話し合う。 教科書を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 新聞紙で服をつくっている。 段ボールで遊んでいる。 とろとろとした絵の具で絵をかいている。 <p>2 不思議な卵から生まれるお話を想像して絵に表すことに関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、気付いたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 海の生き物が出てくる卵 虫が集まっている木が出てくる卵 ★不思議な卵から出てくるものを、楽しく想像して絵にかこう どのような卵があったら面白いかな想像する。 <ul style="list-style-type: none"> 星の形 雲の形 不思議な形 金色の卵 不思議な卵から何が生まれたり出てきたりしたら楽しいかを想像する。 <ul style="list-style-type: none"> 好きなもの なりたいもの 行きたい場所 <p>3～5 お話を想像しながら、卵の模様や生まれたものをかく</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな描画材料と使い方を知り、何を使ってかくか考える。 卵の形や色を考えて切り、模様を付けて画用紙に貼る。 卵から生まれたものや場面をかく。 作品カードを書く。 <ul style="list-style-type: none"> 卵の形の色の工夫 卵から生まれたものや場面の工夫 作品を見せ合って、工夫したことや面白さを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書1・2下P. 2～4を見て、形や色だけでなく、材料や触った感じにも思いを広げられるように促す。 話し合いながら、児童一人一人が面白さや楽しさを感じ取ることができるようにしたい。 教科書P. 5～7「ずがこうさくをはじめよう」を見て自由に発言できるような雰囲気づくりを心掛ける。 年間を通した活動の見通しをもたせる。 実際の題材に取り組む前に本ページを活用しながら、児童とともに、図画工作の目標について話し合う時間をもつようにしたい。 教科書1・2下 P. 16, 17 児童の発言を受け止めながら、いろいろな発想が出てくるようにさせる。 どんな形や色の卵があったらいいか想像を広げられるように、アートカードやいろいろな柄の絵を参考にさせてもよい。 ワークシートに絵や文章でかかせ、考えをまとめさせる。 卵をかいて、切って貼り付け、中から出てきたものを想像してかくことを知らせる。 【評】 不思議な卵から生まれてくるものやお話を想像して考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 パス、絵の具、サインペンの特徴を説明し、パスと絵の具、サインペンと絵の具というように併用させるとよい。 最初に画用紙を卵形などの形に切らせ、好きな模様をかかせてから、割れ目の切り込みを入れて、もう1枚の画用紙に貼り付けさせる 割れた卵を置く位置を考えて、生まれたものや場面をかかせる。 【評】 作品を通して、描画材料の使い方を工夫して、自分の表現したいものに合うように絵に表す「知識・技能」を評価する。 作品カードを書き、鑑賞の参考にさせる。 何が生まれてきたり出てきたりしたかを話し合う。 【評】 工夫したことや面白さを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 【評】 作品やこれまでの学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

他教科との関連

国語科においては、順序立てて説明することが求められる。絵を表すことでイメージの広がりをそのまま表すことができる。そのことを踏まえて指導にあたるようにしたい。